

こまざわICT通信

第1号 平成26年7月18日(金)
駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校
研究推進委員会

駒沢中学校におけるICTの研究や、実践を学期ごとにご紹介いたします。

●はじめに

今回は駒沢中学校でこれまで研究してきた内容と、本年度一学期の授業の様子をお伝えいたします。

●これまでの学び（研究）

研究主題

「ICTを効果的に活用し、授業改善することにより、学力・学習意欲の向上を図る」

●主な活用方法（ICT）

○資料を拡大して提示したり、実演を大型テレビに映し出したりして、学習内容や授業のポイントを共通理解させる。（実物投影機）

○学習に活用し、既習事項を確認する。
（小学校のデジタル教科書などのコンテンツ）



基礎的基本的な知識・技能の定着

○ノートを映しながら、生徒自身に自分の考えを発表させる。（実物投影機）

○いくつかのものを比較して考えさせたりする。
（実物投影機）

○効率よく準備し表現方法を工夫したり、
アニメーションや修正ができる。
（プレゼンテーションソフト）



思考力・判断力・表現力の伸長

○問題提示を工夫し、学習内容や学習活動に興味・関心をもって取り組める。（自作コンテンツ）

○フラッシュカードやふせん機能などを用いて、
全員参加できる内容を取り上げる。
（デジタル教科書、自作コンテンツ）



主体的に取り組む態度の育成

●駒沢中学校での実践紹介

第2学年 理科 単元 電流と磁界 ICT タブレット型PC

2年生の理科の授業では、実験手順を説明した動画を準備しておき、タブレット型PCを活用して、自分たちで動画を確認しながら行っています。実験方法の工夫など、生徒同士で話し合い考えながら実験を行うことで、実験の手順を正しく理解したり、実験中に様々なことに気づいたりします。実験の様子を録画し、共有することで、実験の考察を全員で確認しながら、思考の流れを共有することができます。



第2学年 技術 単元 材料と加工に関する技術 ICT 実物投影機 大型テレビ

2年生の技術の授業では、実物投影機を活用し、工具の使い方や作業手順を見せることで技能の定着を進めています。

また、生徒の作業過程を大型テレビで見せることで、技能の理解を深め自信をもたせています。

さらに、教員があらかじめ作成した見本を撮影し、生徒の作品と比較することにより、いっそう意欲をもって取り組むことができます。



●タブレット型PCの活用について

?教材は

・おもにデジタル教材を使用しています。あらかじめ校内サーバに入れておくと、どの機器からも、アクセスができます。一般のPCソフトであれば、十分に活用できます。

?何ができる

・1台あれば、動画や写真が撮れ、いつでもどこでも再生することができます。PCの基本ソフトが入っているため、通常のPCと同じ機能が備わっています。

?利点は

・気軽に手で操作ができる。
・自分のペースで学習が進められる。

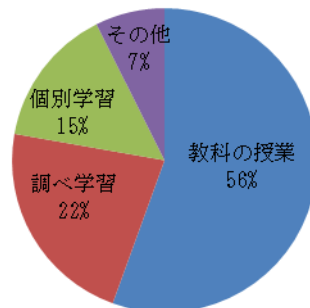
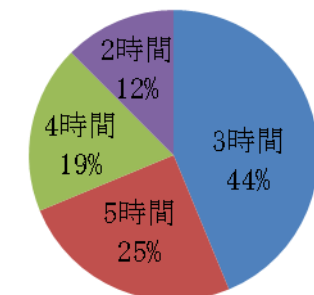
?どのくらい使用している

毎日3時間以上使用することが多いです。理科や数学に加えて、今学期からは社会や英語など、多くの授業で使用しています。また、総合や教科「日本語」等で、学年単位での授業でも使われています。

?使用目的は

教科の授業が半数以上を占めています。活用方法は教科により様々あります。また、PCルームや図書室に移動せず、学級での調べ学習にも使用されています。

その他にも、発表原稿や資料作成を行ったり、個別学習に役立っています。



●おわりに

次回は、駒沢中学校に昨年導入されたタブレット型パソコンの機能を生かし、協働型、双方向型の授業の在り方の研究についてお伝えいたします。